

2026 年 2 月 5 日

各 位

スター精密株式会社

新工場「菊川南工場」が完成、竣工式を開催

— 高水準の環境性能、省人化に対応する最先端のスマートファクトリーへ —



▲菊川南工場の外観



▲竣工式

スター精密株式会社（本社：静岡県静岡市駿河区、代表取締役 社長執行役員：佐藤 衛）は、静岡県菊川市の当社工場敷地内に新工場「菊川南工場」を建設し、2月5日に竣工式を開催しました。

菊川南工場は、当社が製造する工作機械のコア部品「スピンドル」の生産拡大などを目的に建設しました。2024年7月に着工、2025年12月に稼働を開始しています。

環境配慮と製造の効率性を両立する最先端のスマートファクトリーとして、自動盤トップメーカーに向けた生産体制づくりを進めてまいります。

■新工場の特長

1. 高水準の環境性能

地球環境に配慮した工場として、省エネルギー性能の指標である「建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）」で、静岡県内の建築物では初となる「ZEB」ならびに CASBEE 評価認証における最高位 S ランクの両認証を取得しています※1。屋根面に太陽光発電パネル約 800kW を設置するなど、一次エネルギー消費量を従来建物比で 111%削減します。

※1 ご参考：菊川南工場が「ZEB」・CASBEE 評価認証 S ランクの両認証を取得、静岡県内の建築物では初（2024 年 7 月リリース）
https://star-m.jp/wp-content/uploads/ir_news_20240712_01.pdf

2. 省人化を見据えた製造現場

製造現場では、工場内物流の自動化を後押しする「自律走行搬送ロボット（AMR）」など、省人化を見据えた最新鋭の設備やシステムを導入しています。AMR は、高度なセンサーで周囲を認識し、人や障害物との衝突を回避しつつ自律的に素材や加工品を運搬します。さらに、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する取り組みとして、作業手順や検査記録を見える化する製造支援システムや、複雑な加工工程の最適日程を自動立案するスケジューラーシステムを導入し、現場の課題改善と効率化を継続的に進めていきます。

3. 交流を促す職場環境

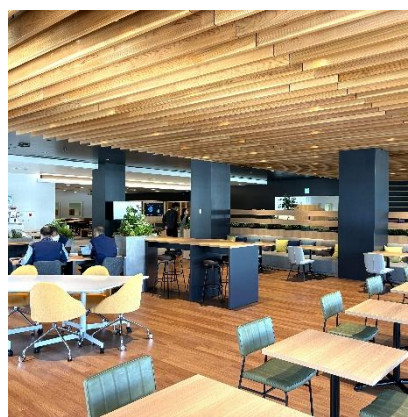
開発部と製造部の執務エリアは、交流を促進するために壁を取り払ったワンフロア設計としています。両部のコミュニケーションの活発化につながるエリアを導入することで、新たなアイデアの創出を促し、開発スピードを高めます。従業員の憩いと交流の場となるカフェテリアスペースも取り入れています。



▲太陽光発電パネル



▲自律走行搬送ロボット（AMR）



▲カフェテリアスペース

■新工場の概要

建物名称：菊川南工場

所在地：菊川市三沢字北ノ谷 1500-34（現菊川工場の敷地内）

機能：コア部品の製造

構造概要：鉄骨 3 階建

建築面積：約 10,300m²（約 3,120 坪）

延床面積：約 13,700m²（約 4,150 坪）

総事業費：約 100 億円

着工：2024 年 7 月

稼働開始：2025 年 12 月

設計施工：木内建設株式会社

<本件に関するお問い合わせ先>

執行役員 機械事業部 副事業部長 佐野光司

TEL.0537-36-5511

以 上